

湿原ゾーン整備の開始および鳥類・水系ゾーンの閉鎖について ～「動物の暮らしを魅せる」展示空間の創出～

千葉市動物公園では、「千葉市動物公園リスタート構想アドバンスプラン」に基づく湿原ゾーンの整備を開始するため、整備予定地である鳥類・水系ゾーンを6月8日（月）から閉鎖します。同ゾーンの動物の展示終了または休止、展示場所の変更を行いますので、お知らせします。

また、鳥類・水系ゾーンの思い出を振り返るフェアウェルイベントを行いますので、併せてお知らせします。

1 湿原ゾーンの整備について

(1) 整備方針・目的

『動物の暮らしを魅せる』展示空間の創出を整備方針とし、動物の生息環境を再現することで、飼育環境の充実を図り、動物の本来の生態や習性が発現できる施設を整備します。

また、希少種であるハシビロコウのアジア初の繁殖を目指すとともに、来園者が動物や動物の生息地、それらを取り巻く環境問題などについて学べる空間を創出します。

(2) 展示予定の動物

ハシビロコウ、スナドリネコ、アメリカビーバー、カピバラ、コツメカワウソ、ショウジョウトキ、カラフトフクロウ、水禽類

(3) オープン

令和 9年春頃（予定） 一部先行オープン
令和10年春頃（予定） 全面オープン



湿原ゾーン ハシビロコウ展示イメージ

2 鳥類・水系ゾーンの閉鎖について

(1) ゾーン概要

二次開園（1988年4月20日）に草原ゾーンとともに完成し、カリフォルニアアシカを含む38種で展示を開始しました。中央に自然樹林を活用した緑陰広場を設け、これを取り囲むようにハシビロコウ、ワシ、ツル、キジなどの鳥類を展示していました。ペンギンについては陸上の姿だけでなく、地下通路から泳ぐ姿も観察できました。

(2) 閉鎖日

令和8年6月8日（月）
※6月7日（日）まで一般開放しています。

(3) 主な動物の今後の展示について

ア 展示を終了する動物

- ・カリフォルニアアシカ（2月25日に鴨川シーワールドへ移動済み）
- ・ケープペンギン（4月23日に霞ヶ浦どうぶつとみんなのいえへ移動済み）
- ・コサンケイなどのキジ類（将来的に整備予定の森林ゾーンにて展示再開予定）
- ・オジロワシ（非公開エリアにて終生飼育予定）
- ・アフリカヘラサギ（非公開エリアにて終生飼育予定）

イ 展示を休止する動物

- ・ハシビロコウ（4月8日から展示を休止済み、湿原ゾーンで展示再開予定）
- ・ヘビクイワシ（湿原ゾーンで展示再開予定）
- ・ショウジョウトキ（湿原ゾーンで展示再開予定）
- ・エジプトハゲワシ（展示場の調整後展示予定）

ウ 展示場所を変更する動物

- ・イヌワシ（サル比較舎にて展示予定）

3 鳥類・水系ゾーンフェアウェルイベントについて

イベント名	内容	期間
最初で最後の内部公開～ハシビロコウと飼育員だけが見ていた景色～	ハシビロコウの展示休止後の期間に展示場の中に入れます。ハシビロコウが作った巣を間近で観察したり、実物大パネルと写真を撮ったりすることができます。飼育担当によるガイドも開催予定です。 (鳥類・水系ゾーン ハシビロコウ展示場)	4/29 (水・祝) ～6/7 (日)
鳥類・水系ゾーン思い出写真展	これまで鳥類・水系ゾーンで飼育していた動物たちの写真を展示します。 (動物科学館2階 ログルーム)	5/21 (木) ～8/31 (月)
みんなの思い出写真展@X	動物公園公式Xで来園者の方が撮影した鳥類・水系ゾーンの動物たちの写真を募集します。共通のハッシュタグをつけてご参加いただけます。	4/29 (水・祝) ～終期定めず
鳥類・水系ゾーンの仲間を紹介！@X	動物公園公式Xで飼育員のコメントとともに鳥類・水系ゾーンの仲間たちを紹介します。	5/11 (月) ～6/7 (日)